

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成27年度第1回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	平成27年10月27日(火) 午後1時30分 開会・午後2時55分 閉会
開 催 場 所	入間市リサイクルプラザ 2階研修室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	今出康代 奥山重信 小田島貞榮 劔持和夫 小林昌幸 関根精隆 永井健一 双木茂芳 沼井里恵 向野康宏 山本有男 和田伸二
欠席委員(者)氏名	岡野こずえ 實森 誠 篠塚玲子
説明者の職氏名	環境経済部長 山崎利明 環境経済部参事兼総合クリーンセンター所長 秋元 満 環境経済次長 増岡 清 環境経済部副参事(管理業務担当兼宮寺清掃センター所長) 横田一洋 総合クリーンセンター 副主幹 齋藤政弘 技師 木戸康仁
会 議 次 第 (公 開)	(委嘱状交付) 1 開会 2 会長あいさつ 3 職員紹介 4 議 題 (1) ごみの現状について (2) 最終処分場の現状について (3) その他 5 その他 6 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料1「ごみについて考える」 資料2「最終処分場の現状と課題」
事務局職員職氏名	環境経済部長 山崎利明 環境経済次長 増岡 清 環境経済部参事兼総合クリーンセンター所長 秋元 満 環境経済部副参事(清掃指導・ごみ減量推進担当) 石川昌輝 環境経済部副参事(管理業務担当兼宮寺清掃センター所長) 横田一洋 総合クリーンセンター 主幹 増岡貞夫、副主幹 廣瀬光太郎 副主幹 齋藤政弘、技師 木戸康仁
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○議題

(1) ごみの現状について

事務局より次の点について説明をした。

「資料1 ごみについて考える」

ごみの現状、ごみの排出量の内訳、ごみ処理にかかる経費、資源化量(率)、入間市のごみ処理(フロー)、3R、雑がみマーク等について説明をした。

(2) 最終処分場の現状について

事務局より次の点について説明をした。

- 1 入間市一般廃棄物最終処分場の概要
- 2 浸出水処理施設の概要(水処理施設)
- 3 最終処分場の現状
- 4 埋立している廃棄物の種類
- 5 最終処分場の課題

(3) その他

今後の審議会スケジュールについて説明をした。

次回会議は平成28年1月を予定。

○その他

特になし

以上

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員より発言が行なわれた部分のみ記述する。)
	委嘱状交付 (1名)
	1 開会
	2 あいさつ
	3 職員紹介
小林議長 (齋藤副主幹)	(1) ごみの現状について事務局から説明をお願いします。
小田島委員 (齋藤副主幹)	資料1「ごみについて考える」に基づいて説明する。 資源ごみの出し方で、雑誌と雑がみを一緒にしぼって出してよろしいですか。
向野委員 (齋藤副主幹)	雑誌と雑がみはひとくくりで売買契約しておりますので、一緒に出していただいても可です。なお、新聞広告のチラシについては新聞と一緒に出していただき、その他のチラシは雑がみとして出してください。
向野委員 (齋藤副主幹)	紙袋に入れて出す雑がみの種類には、色紙、カレンダー、トイレットペーパーの芯などいろいろありますが、紙袋へ一緒に入れていいのか戸惑ってしまっていますが問題ありませんか。
小林議長 (齋藤副主幹)	一緒に入れていただいて問題ありません。
今出委員 (齋藤副主幹)	今の質問を総括すると、紙類の出し方は、新聞、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックの4種類の出し方であると理解してよろしいですか。
今出委員 (齋藤副主幹)	そのとおりです。
今出委員 (齋藤副主幹)	P10資源ごみの出し方について、金具を外してくださいと記載されていますが、薄い冊子のホッチキスの針も外す必要がありますか。
今出委員 (齋藤副主幹)	金具とは、アルバムやファイルに付いているような止め金具ことで、ホッチキスの針については外さなくて結構です。
今出委員 (齋藤副主幹)	スプレー缶に穴を開けなくてもよろしいのですか。
今出委員 (齋藤副主幹)	以前はスプレー缶の中身を使い切ってから缶に穴を開けていただくようお願いしておりました。しかし、スプレー缶の中身を使い切っても、若干缶の中にガスが残っており、室内で缶に穴を開けたことによりガスに引火し、火災が発生した事例がありました。そのようなことから、現在は缶の中身を使い切った後は、缶に穴を開けずに他の不燃ごみとは別の透明ビニール袋で出してくださいようお願いしております。

発 言 者	発 言 内 容
沼井委員	渦巻状の針金が付いたノートを雑がみとして出すには、渦巻状の針金を取る必要がありますか。
(齋藤副主幹)	渦巻状の針金のような強固なものは外していただくようお願いします。
双木委員	雑がみのリサイクル制度が始まったのはいつごろからですか。
(増岡次長)	市からいくつかの自治会へお願いし、モデル地区となっただき、雑がみの回収を始めたのが平成19年4月です。
双木委員	「雑がみ」という文字自体が汚いイメージがあるのですが、先日ラジオで川崎市が「ミックスペーパー」という名称で回収を始めたところ、5年間で焼却炉1基を削減できたとの事例がありました。「雑がみ」より「ミックスペーパー」というようなきれいな表現の方が、市民の協力が得られやすいと思うのですがいかがですか。
小林議長	「雑がみ」より、よい表現があるか事務局で検討してください。
(山崎部長)	きれいなイメージは必要であると思いますが、一方で市役所において横文字を使うのは分かりにくいとの意見もあるので、今後よく検討させていただきます。
小林議長	事務局で検討していただき、審議会で報告するようお願いします。
剣持委員	ごみの出し方で分別がわかりにくいものとありましたが、ごみチャンネル（ごみ分別事典）が大変よくできており、9割はこれを見れば分かると思います。市民の中にはごみチャンネル（ごみ分別事典）を知らない人も多いと思います。さらにごみチャンネルの活用についてPRすべきと思います。
小林議長	冊子のごみチャンネル（ごみ分別事典）を見る以外に、市公式ホームページ（インターネット）や、「入間市ごみ分別アプリ」（スマートフォン）からごみチャンネル（ごみ分別事典）を閲覧できるので、事務局でも今後さらにPRをお願いします。
奥山副会長	資料1の表紙に掲載されているイラストは、沼井委員が作成したものでか。
沼井委員	そのとおりです。
小林議長	入間市ごみ分別アプリのキャラクターも沼井委員が作成したものですので、ぜひダウンロードしていただきたいと思います。なお、毎月のカレンダーのイラストは月々で変わります。
	ごみの排出量の内訳がありましたが、どれくらいの量が最終処分場へ搬入されているのですか。

発 言 者	発 言 内 容
(秋元所長)	可燃ごみを焼却すると約1割の焼却灰が発生します。焼却灰が3,000トン、残渣(破碎して燃えないもの)が700トン発生します。焼却灰のうち1,000トンを寄居町にあります民間リサイクル施設に搬入し再生砂へリサイクルしています。残りを最終処分場で埋め立て処理しています。
剣持委員	資料1のP5のごみ処理フロー図に、硬質プラスチック売却とあります。これは粗大ごみから出た硬質プラスチックとして図に示されておりますが、実際には不燃ごみからも多く硬質プラスチックが排出されています。不燃ごみの中からも集めて売却、リサイクルをしないのですか。
(秋元所長)	粗大ごみの中からポリタンク、衣装ケース等を抜き取り硬質プラスチックとして1円/kgで売却しています。不燃ごみはパッカー車で収集したものを処理機へ投入します。その不燃ごみの中から携帯電話のような高く売却できるものは抜き取って売却を行っておりますが、硬質プラスチックについては抜き取る手間がかかり作業人員もいないため破碎します。その後、燃やせるものは焼却し、燃えないものは最終処分場へ埋め立てしております。
剣持委員	経済的に効率が悪いことは理解していますが、不燃ごみの中の硬質プラスチックをリサイクルすることはできないのですか。
(秋元所長)	手間をかけて硬質プラスチックを集めてリサイクルすることは可能ですが、作業人員等のコストがかかりそれに見合う売却収入が見込めず、費用対効果の点からも難しいと考えます。
小林議長	硬質プラスチックを1kg集めるには、大変な作業を必要とし、人件費がかかるということです。 他に何かご意見はありますか。なければ議題(2)最終処分場の現状について事務局から説明をお願いします。
(横田副参事)	資料2「最終処分場の現状と課題」に基づいて説明する。
山本委員	飛灰について放射性セシウムなど問題はないのですか。
(秋元所長)	基準値8,000ベクレル以下で埋め立てが可能となります。現在飛灰は約100ベクレル程度で埋め立てを行っているので問題はありません。
山本委員	廃棄物処理法では、最終処分場の容量が満杯になり利用が終了した場合、表面は平らにする必要があるのか、それとも山のままでよいのですか。
(秋元所長)	水平面が1m程度までは盛ることはできます。通常、埋立地は公園等として整備し市民等に利用されています。
山本委員	大阪市の事例で、埋立地を山状にして木を植えて公園にしているのを見た

発 言 者	発 言 内 容
	<p>のですが、このように山状にすることが可能であれば最終処分場もより長く使用できると思います。また、山状であれば公園として整備する以外に、斜面を利用して太陽光発電など他にも色々な利用が考えられると思います。最終処分場を山状にすることは可能ですか。</p>
(秋元所長)	<p>今後調査、研究を行います。</p>
奥山委員	<p>施設概要で埋め立ての深さがGL＝10mとなっておりますが、これは基準があるのですか。</p>
(木戸技師)	<p>建設した当時、関東ローム層の厚さが約10m程度でした。それ以上掘削すると碎石層となり水が湧き出てしまい、防水工事等の工事費がかかってしまうので、関東ローム層の層厚内で収まるよう設計がされています。</p>
剣持委員	<p>検討委員会とは、市の内部だけで検討しているのですか。もっと広く市民を巻き込んで検討を進めるという考えはないのでしょうか。</p>
(秋元所長)	<p>まず、当センター内に研究チームを作って検討し、その結果を踏まえ庁内に横断的な組織として検討委員会を設けました。現在よりよい方策について検討中でありまして、その結果に基づいて審議会へ諮問というかたちをとらせていただきたいと思います。市民の代表である委員の皆様の意見を伺って方針を出し、最終的に庁議にて判断を仰ぐということになります。検討委員会で抽出された内容が委員の皆様に研究していただく資料となります。</p>
剣持委員	<p>ごみに関して積極的に取り組む自治体は、市民を検討の段階から巻き込んでいます。最終処分場の問題は、市民に直接影響することなので、後から市民を参加させるのではなく、より早い段階で市民を参加させるほうがよいと思うのですがいかがですか。</p>
(秋元所長)	<p>検討委員会で検討した内容は、あくまでも委員の皆様に議論していただく基となる資料を提示するためのものです。何もないところから論議することは難しいと考えます。例えばコストの比較など、様々な事項を洗い出して資料を作成し、その上で検討していただいとを考えています。</p>
剣持委員	<p>資料を作って市民を検討委員会へ入れるということですか。</p>
(秋元所長)	<p>この審議会において、市民の代表である委員の皆様に、市民の視点からご意見をいただきたいと思いますと考えております。</p>
奥山副会長	<p>平成27年6月市議会の一般質問で、最終処分場を新設した場合は15億円、拡張した場合は新設よりも2億円安くなるとの答弁がありました。15億円と具体的な数値が出されるということは、現時点で最終処分場を作る具</p>

発 言 者	発 言 内 容
(山崎部長)	<p>体的なイメージがあるのですか。</p> <p>先般の市議会では、あくまでも検討委員会で検討している段階での数値ということでお答えいたしました。これまで全国的にも最終処分場が建設されていますので、そのような資料を基に試算した場合の数値ということですが、そのような資料を基に、この場で市民の代表として皆さんよりご意見をいただければと考えております。</p>
向野委員	<p>最終処分場の建設にあたり、例えば何十年後かに処理水が漏れ出すといった想定していないような事態が発生する可能性もあると思います。事前に地域住民へ説明し理解していただくことも重要であると思いますが、その点についてどのようにお考えですか。</p>
(秋元所長)	<p>現在の最終処分場を建設する際も地元説明を行い、了解を得てから工事に着手しております。新設あるいは拡張となった場合は、当然地元説明会等を開催し、地域の皆様の了解を得てから工事を進めることとなります。</p>
山本委員	<p>建設計画が整った場合、市民への縦覧期間はどのくらいですか。</p>
(秋元所長)	<p>確認し次回にお答えします。</p>
剣持委員	<p>今回の検討内容は、最終処分場を何らかのかたちで増やすということによるのでしょうか。</p>
(秋元所長)	<p>先般の市議会において、最終処分場の埋め立て量が平成40年頃で満杯になってしまうことから、その後はどう対応するのか方針を検討する時期（新規で完成までに約10年）ではないのかとの一般質問がございました。</p> <p>また、焼却灰の処分方法は、再生砂としてリサイクルするのか、県外の民間最終処分場へ委ねるのか、市内で埋め立て処理（最終処分場の新設あるいは拡張）をするのかとの質問もございました。</p> <p>これらのご質問に対し、先ほど説明申し上げましたとおり、総合クリーンセンター内で研究チームを立ち上げ、その後庁内の横断的組織で検討した内容を審議会にお諮りし、最終的に市の意思決定機関である庁議で方針を決定させていただきたい旨答弁しているところであります。</p>
小林議長	<p>最終処分場は、市民自身が排出するごみに関係する施設であるにもかかわらず、いわゆる迷惑施設として市境等に建設される事例が多くあります。さらに、市外で処理してはどうかという意見も予想されます。また、費用面で</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p> 剣持委員 (秋元所長) 小林議長 (齋藤副主幹) 剣持委員 (山崎部長) 司会 </p>	<p> もかなりの金額が必要となるという現状もあります。そういったことを含めて現在検討委員会では我々が議論するための基礎資料を作っていたいただいているところであると考えます。次回会議は市長からの諮問を受け皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと考えておりますのでご理解をお願いします。 </p> <p> 最終処分場の問題は、建設等に関するだけでなく、ごみの減量化方策についても並行して議論しなければならないと思います。(徳島県勝浦郡)上勝町のように、ごみを限りなく資源化して減量化している自治体もあります。もう少しごみを資源化して減量化につなげようという議論があってもよいと思います。今からでも最終処分場への埋め立て量が減らせれば、施設の延命化にもつながると思いますがいかがですか。 </p> <p> ご指摘のように、ごみをさらに資源化し、最終処分場の延命化を図るとのご意見もあると思います。次回の会議では、そのようなことを含めて、より効果的な方策等について、ご議論をお願いできればと考えております。 </p> <p> 議題の(3)その他について事務局から何かございますか。 </p> <p> 次回審議会の開催予定ですが、1月の中旬以降に最終処分場についての諮問をさせていただく予定です。 </p> <p> 会議資料を事前に配布していただくことは可能ですか。 </p> <p> 最大限配慮させていただきます。 </p> <p> 5 その他につきまして皆様よりご意見等ございますか。 </p> <p> ないようですので、以上をもちまして、平成27年度第1回審議회를終了させていただきます。 </p> <p> 6 閉会 </p>
<p>議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>平成 年 月 日</p>	
<p>議 長 の 署 名 _____</p>	
<p>議長が指名した者の署名 _____</p>	